



議会図書室からのお知らせ

今月の新着図書
R6年11月（一般用）

『日本はどこで道を誤ったのか』

政治

山口二郎【著】/集英社（2024/7）



官僚の不祥事、財政赤字、上昇しない実質賃金、インフレによる生活苦。現在の日本社会が停滞している原因は何なのか？政治学者が日本の「失われた50年」を分析。「令和の時代にふさわしい新しい政治のあり方」を考える。

『コロナ「留め置き死」～医療を受けられなかった人たち』

医療

横山壽一/井上ひろみ他【編】/旬報社（2024/7）



コロナに感染し、医療措置が必要であったにもかかわらず、施設に留め置かれ、命を失った人たちがいる。「医療アクセス制限」「いのちの選別」の実態を検証し、現代医療の課題を明らかにする。

『小選挙区制の弊害～中選挙区連記制の提唱』

選挙

田中秀征【著】/旬報社（2024/5）



民意が正しく反映されないままの単一政党支配、権力の集中による議員活動の阻害。それらを解消するためには、小選挙区制度を変えることが必要だと提言。現在の選挙区制度の欠陥を明らかにし、政治の大転換を促すための新たな選挙区制度とは？

『知られざる学童保育の世界～問題だらけの“社会インフラ”』

子育て

萩原和也【著】/寿郎社（2024/7）



狭い施設にギュウギュウ詰めの子どもたち、低賃金で結婚をあきらめる学童職員、「学童ガチャ」で苦しむ親子、補助金ビジネスで儲ける企業。問題だらけの“社会インフラ”の内幕に、学童運営の経験者が切り込み、その解決法をアドバイスする。

『そして夫は、完全な女性になった』

ノンフィクション

みかた/大谷伸久【著】/すばる舎（2024/7）



「これ以上自分が中年男性になることに耐えられない。残りの人生は女性として生きたい」。40代を迎えた夫が突然言い放った。混乱しながらも話し合いを重ね、変化する夫を見守り続けた妻の手記。性別違和理解、現代ジェンダー医療への思いを綴る。

『女性なぜ男性より貧しいのか？』

ジェンダー

アナベル＝ウィリアムズ【著】/晶文社（2024/5）



今のままでは、男女間の賃金格差解消に257年かかる！「女性の賃金だけ低くするのは違法だから賃金差別はありえない」「賃金格差は教育で解決できる」などの通説を覆し、格差が生まれる根本を探り、平等への具体策を考える。「お金×ジェンダー」の必読書。

『ファールと日本人』

自然科学

養老孟司/奥本大三郎【著】/かや書房（2024/7）



今年でファール生誕から201年。解剖学者とフランス文学者の2人が「ファール昆虫記」「ファールの人生」を皮切りに、日本の様々な問題について語り合う。自然から離れ、体で感じる感覚を失いつつある日本人は、これからどこへ向かうのか？

『ミュージアムと生きていく』

芸術文化

大澤夏美【著】/文学通信（2024/8）



あなたの人生において、ミュージアムとはどんな存在？ 色々な立場、職業の人たちはそれぞれどのように関わり、共に生きているのだろうか？ ミュージアム関係者と対話し、ミュージアムにまつわる進路から生き方、人生に至るまでを考える1冊。

『古墳と埴輪』

歴史文化

和田晴吾【著】/岩波出版（2024/6）



3～6世紀、日本人はなぜこんなにもおびただしい数の古墳や埴輪を造ったのか？考古学研究の第一人者が、中国・朝鮮半島の葬制からの影響を視野に入れて、古墳の宗教的・社会的役割を考察。古墳と埴輪の本質と古代人の他界観に迫る！

▶特別委員会シリーズ④：「次世代産業・人材確保」に関する書籍

新着

『ウェルビーイングをデザインする小中学生の非認知能力～自ら学ぶ意欲のプロセスモデルで育てる「自分らしく学び続ける力」』

櫻井茂男【著】/図書文化社 (2024/7)

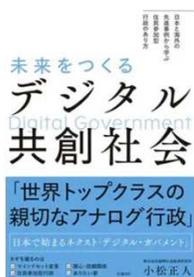


予測困難な社会でも、自分らしい生き方を実現するために必要な力とは？近い未来すら見通せない時代。子どもたちが「自分らしく学び続ける力」を高めるために私たちがすべきことは何か。話題のテーマに切り込む1冊。

新着

『未来をつくるデジタル共創社会～日本と海外の先進事例から学ぶ住民参加型行政のあり方』

小松正人【著】/日経BP (2024/8)

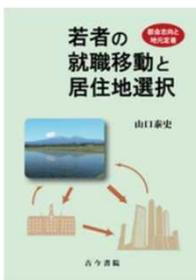


日本が誇る親切な対面サービスなどの「アナログ行政」を、デジタルを活用してどのように進化させればよいのか？海外事例や先進的な地方公共団体の変革事例を紹介し「行政DX」に欠かせない要素を考える。

新着

『若者の就職移動と居住地選択～都会志向と地元定着（新装版）』

山口泰史【著】/古今書院 (2024/3)



地方圏の若者の移動の実態と要因、問題点を考察。データ分析にとどまらず、高校生の求人システム、Uターン者・非Uターン者の意識構造、親世代の意識が及ぼす影響などについても取り上げる。

『ウェルビーイングを実現するスマートモビリティ』

～事例で読みとく地域課題の解決策』

石田東生・宿利正史 他【編著】/学芸出版社 (2022/9)



「モビリティ」を賢く使いこなし、人々がアクティブに暮らせる街の作り方をプロが解説。MaaS等のサービスを活用するためのポイント、街にもたらす効果を、群馬県も含む多数の事例から解説。



図書広報委員がおすすめする一冊

『星の王子さま』



著者：サン＝テグジュペリ /岩波書店
(1993年4月)



紹介者：鈴木 数成 委員
自由民主党・前橋市選出・1期

「おとなはだれも初めはこどもだった。しかし、その事を忘れずにいるおとなはそう多くない」。最初のページにある一節。

シンプルはずなのに、大人になるとシンプルなことほど難しく、複雑に考えてしまうことも少なくありません。『星の王子さま』のシンプルでまっすぐな言葉に、大人になった今、改めて触れてみることで、私たちが失ってしまった気持ちを思い出すことができ、心の中に少し余裕が生まれる一冊です。

ちょっとまとまった時間ができて、頭の中をリセットしたいとき。そんなときにお薦めです。

▶次号では、須永 聡 委員におすすめしていただきます！



議会事務局政策広報課（議会図書室）